

明窓



きららとしょかん明徳館
図書館だより
第 89 号
発行 令和6年3月29日
秋田市立中央図書館明徳館
秋田市千秋明徳町4番4号
電話 018-832-9220

「市民に愛される図書館」をめざして 電子書籍貸出サービスを始めました

中央図書館明徳館は、昨年、おかげさまで開館40周年の節目の年を迎えることができました。開館以来、市民に親しまれ、利用しやすい図書館運営をめざし、情報化など時代の変化に対応した図書館サービスの充実に努めてきたところであります。

図書館を利用するかたの、より一層の利便性の向上を図るため、令和6年1月から、従来の図書館サービスに加え、来館しなくても365日、24時間利用できる電子書籍貸出サービスを開始しました。

これまで、図書館の書籍を利用するためには来館する必要があったものですが、これからは、図書館の開館日や開館時間、天候などを気にせず、いつでも、どこでもインターネットを通じて、電子書籍の検索や予約、そして

貸出しを受けることができるようになりました。また、電子書籍には、文字を拡大して表示する機能や、音声で読み上げる機能がついているものも多

くありますので、障がいのあるかたや高齢のかたも気軽に読書を楽しんでいただけます。ぜひ、この新しいサービスをお試しいただければと思います。

社会状況はこれからも私たちの予想を上回る形で変化をしていくと思われるますが、今後も、市民のための図書館であることを忘れず、これからの社会のために図書館は何ができるのか、皆さんとともに考えながら、これまで以上に市民に愛される図書館をめざしてまいります。

中央図書館明徳館館長 佐藤 渉

電子書籍の利用方法

令和6年1月31日から、秋田市立図書館で電子書籍の提供が始まりました。

児童書、一般書あわせて約3千タイトルからスタートし、順次追加予定です。

「ご利用いただくもの」

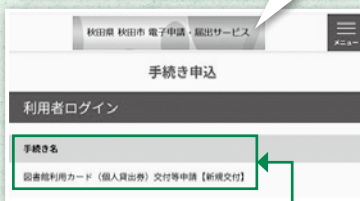
- ・図書館利用カード
- ・パスワード
- ・スマートフォン、タブレット、パソコンなどのインターネットにつながる端末

「図書館利用カードをつくる」

秋田市にお住まいのかた、または秋田市内に通勤、通学されているかたはどなたでもつくることができ

ます。住所と氏名が確認できるものをご用意の上、各図書館の窓口へお越しください。

秋田市電子申請・届出サービスからも申請できます。「図書館」で検索してください。



手続き名
図書館利用カード(個人貸出券)交付等申請【新規交付】

貸出し点数と期間
1人3点まで、7日間。

秋田市立図書館ホームページの資料紹介から電子書籍サービスのページへ



資料紹介

電子書籍サービス

「予約」

1人3点まで。

予約している本が返却されると同時に貸出し状態になるので、適時ご自身でご確認ください。メールアドレスをご登録いただくと、貸出し・返却の連絡がメールで届きます。予約の取り置きはできません。

「注意」

電子書籍サービスの利用は無料ですが、通信料は利用者負担です。

読書の入り口も方法も選択肢が増えていきます。ぜひこの機会に図書館を利用して、本との出会いから広がる世界をお楽しみください。



令和5年に中央図書館明徳館は 開館40周年を迎えました！

記念企画展

「ありがとう40周年 中央図書館明徳館のあゆみ」

10月3日の開館記念日と第77回読書週間に合わせ、令和5年10月3日から11月14日まで、記念企画展を開催しました。

開館までの道のりや明徳館という館名の由来、開館後40年間の記録などを年表形式にまとめたパネル展示を行いました。関連する新聞記事や、当館がこれまで発行してきた「明窓」のバックナンバー、「広報あきた」の記事などを添えて、開館当時の様子を改めて詳しく紹介しました。また、開館した昭和58年（1983年）に出版された本や、その年の芥川賞などの受賞作、ベストセラーも一緒に紹介し、たくさんのかたに利用していただきました。

展示の一角では、9月に開催した講座（詳細は3ページ）に関連して、那波家文書や長瀬



家文書など当館所蔵の貴重な古文書について紹介する展示を行ったほか、渡辺淳一氏、村松友視氏、角野栄子氏、又吉直樹氏など、40年の間に講演会の講師をしていただいたかたや、ご来館くださった著名人のサイン色紙を展示しました。

これからも、たくさんのかたに愉しんでいただけの事業を企画していきますので、よろしくお願いたします。



記念企画展（児童）

「おめでとう40周年！ みんなで作る本の展示」

児童コーナーでは、利用者参加型の40周年記念展示を、令和5年9月30日から12月15日まで、2期に分けて開催しました。

第1期（11月14日まで）のサブテーマは、「知ってる？図書館のひみつ」。



この展示には、秋田市PTA連合会と共催の親子学習会に参加した小学生の皆さんが協力してくれました。イソップ号の基地、江戸時代の古文書もある書庫、本の修理をする部屋など普段は入れない図書館の裏側を探検して分かったことをみんなに教えたり、図書館を舞台にした読みものや絵本などを紹介したりするPOPを描き、本と一緒に展示しました。参加した親子からは、図書館の裏側を知って、もっと利用したくなつたという感想が聞かれました。



第2期（12月1日から）のサブテーマは「みんなのおすすめ本、一挙大公開！」。この展示に協力してくれたのは、日頃からおもしろかった本を教えてくれる、来館者の子どもたち。図書館のカウンター前には、

通年で「おもしろかったよ、この本！」という用紙と、それを入れるポストを設置してあります。第2期では、子どもたちが描

いてくれた用紙と一緒に、紹介された本を集めて展示しました。読みもの、ノンフィクション、内容やテーマは幅広く、どれもおすすめしたい熱い思いがこもっていて、見応えのある展示になりました。

これからも、子どもたちの声を大切にしていきたいと思っておりますので、おもしろい本に出会ったら、ぜひ図書館に教えてください。

明徳館 ボランティアの会が40周年に

活動40周年を迎えたボランティアの会。10月には各グループの活動紹介を模造紙にまとめ、館の中央階段付近に展示しました。事務局一丸となり各グループの創意工夫で制作し、わかり易さがとても好評でした。

また、10年毎に発行している記念誌の制作に取り組みました。会員一人ひとりの声を掲載し、諸物価高騰の折、自らパソコン入力するなど事務局、編集委員、会員の総力で乗り切ろうと奮闘し、令和6年2月20日に「はぐくみあって40年」を発行することができました。頼もしい仲間達と共に50周年に向けて動んでまいります。

明徳館ボランティアの会

総代表 高畑 洋子



開館40周年記念講座

市民文化講座

「お宝発見！
所蔵古文書から見えるもの」

令和5年9月9日・10日の二日間、市民文化講座「お宝発見！ 所蔵古文書から見えるもの」を開催しました。

当館は秋田市指定文化財の『長瀬家文書』『鍛冶町文書』『新屋肝煎文書』をはじめとして、多くの古文書を所蔵しています。本講座では、明德館所蔵の主な古文書について、その特徴や来歴を学びました。



講師は当館職員として古文書の受け入れ、整理に尽力され、現在は秋田歴史研究会会長を務める菅原忠氏です。

9日は明德館最大の資料数を誇る『那波家文書』と令和5年に文化財指定を受けた『長瀬家文書』、10日は『栗林広運日記』を中心に9つの文書を取り上げました。

会場には実際の文書も展示され、多くの参加者が古文書からわかる江戸時代の秋田の様子に思いを馳せたようでした。



市民文化講座

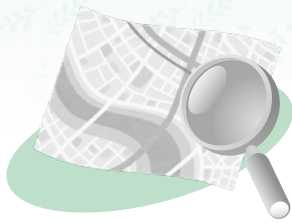
「秋田市の都市形成と空間の変遷」

令和5年10月22日に、秋田公立美術大学助教の石渡雄士氏を講師に迎え、市民文化講座「秋田市の都市形成と空間の変遷」を開催しました。石渡氏は、主に日本の都市や地域に関する歴史的な成り立ちや空間構

造を明らかにする研究を続ける都市史、建築史の専門家です。



参加者は講座の冒頭で、都市の構造を読み解く方法としての学問「都市史」について解説を受けると、続いて古地図や地形図などを参照しながら、秋田市を含む近現代の都市がいかにして近世城下町を継承しつつ形成されてきたかについて学びました。講座終了後も質疑応答が続ぎ、紹介された文献をその場で借りて帰られる方も多数いらっしゃり、大いに盛り上がりしました。



Ehon ストーリータイム

令和5年6月から、月1〜2回、英語による絵本の読み聞かせを行っています。読み聞かせをしてくれるのは、秋田大学教育文化学部英語教育コースの学生の皆さんです。

おはなし会は「Hello, everyone!」のあいさつから始まります。簡単な英語で子どもたちと会話を楽しみながら、和やかな雰囲気の中で絵本を読みます。絵本の内容に合わせて、子どもたちに英語で質問すると、元氣な返事が返ってきて、楽しんでいことが伝わってきます。

読み聞かせのあとは、その日に読んだ絵本と同じ作家のシリーズなど、関連する絵本も紹介しています。お子さんから大人まで、英語は苦手、というかたでも楽しめます。どうぞご参加ください！



令和5年度事業

中央図書館明德館、フォンテ文庫、河辺分館で実施した主な事業を紹介します。

資料展示

「あなたのために秋田市立図書館の雑誌を集めました。」

- 4/11～5/28
土崎図書館、新屋図書館、雄和図書館、河辺分館、移動図書館所蔵の雑誌を集めて展示・貸出し。

こどもの読書週間資料展示

「本ではぐくむ こどものころ」

- 4/18～5/14
乳幼児の発達段階に合わせて、絵本を中心に展示。また、明德館開館40周年にちなみ刊行から40年以上のロングセラー絵本などを展示・貸出し。

「訪問おはなし会 ー読書週間ー」

- 4/26～5/12
 - 10/25～11/8
- 期間中の平日に、子どもたちのいる施設で明德館ボランティアおはなしの会が読み聞かせやエプロンシアターを実施。

「第1回芥川賞正賞 懐中時計と格拉 特別展示」

- 6/27～7/9
 - 1/30～2/12
- 郷土作家石川達三が受賞した懐中時計と「成瀬南平の行状」のグラを1階カウンター前に展示。

移動図書館イソップ号特別巡回

- 「mama まるしえあきた夏」 7/2
会場：一つ森公園
 - 「ブラウブリッツ秋田」 9/16
会場：ソユースタジアム
- 市民が参加するイベントにイソップ号が出勤。関連する資料の展示・貸出し。

小学生向けボランティア体験講座

「図書館で本の整理をやってみよう！」

- 7/25
- 書架整理の基本である本の分類や並べ方を学ぶ。また、ボランティア実践者へのインタビューも実施。
共催：市民交流サロン

図書館で見つけよう！ 夏休みチャレンジコーナー

「子どもカウンター」

- 7/22, 23, 25, 26, 29, 30
- 子ども専用の読書相談窓口を設け、司書が調べものの進め方やおすすめの本などをアドバイス。

資料展示

「みんなの調べ学習応援します！」

- 7/19～8/27
- 夏休みの課題や自由研究の題材となるような図書の展示・貸出し。



夏休み子ども講座

「切り紙でデザインする ステンシルマイバッグづくり講座」

- 7/27(明德館)、8/2(河辺分館)
- 布バッグに自分で切り抜いた紙を配置し、染色してオリジナルのマイバッグを作る。関連資料の展示・貸出し。共催：秋田市環境部

「フォンテ文庫アニバーサリー スペシャル なつのえんにち」

- 7/29
- 「なつのえんにち」を開催。輪投げや魚つり・ゲームなどを実施。



「やってみよう！ 選書体験」

- 7/29(河辺分館)、7/30(明德館)
- 新刊図書を中心に図書館にあって役に立つと思う本を選ぶ。

河辺分館夏休み特別企画 「図書館クイズラリー」

- 8/1～24
- 図書館の使い方や本の面白さを地域の子供たちに伝える、クイズラリーを実施。



「あそびのはじまり 2023」協力

- 9/30, 10/1
- 会場：秋田市文化創造館
子どもたちが様々な体験をするイベントにテーマに合わせた本を展示・貸出し。



中央図書館明德館 「子ども広場」

- 10/1



明德館ボランティアおはなしの会による、人形劇「おだんごばん」、大型絵本「あめのひのえんそく」、パネルシアター「ハッピーバースデーお月さま」などの上演。

中央図書館明德館開館40周年記念 読書週間2023企画資料展

「ありがとう40周年 中央図書館明德館のあゆみ」

- 10/3～11/14

詳しくはp2をご覧ください

「おめでとう40周年！ みんなで作る本の展示」

- 9/30～12/15

中央図書館明德館開館40周年記念 市民文化講座

「お宝発見！ 所蔵古文書から見えるもの」

- 9/9, 9/10

詳しくはp3をご覧ください

「秋田市の都市形成と空間の変遷」

- 10/22

市民文化講座

「ツバルについて学ぼう！」

- 10/28
- 講師：松館文子氏
JICAツバル事務所勤務経験者によるツバルの文化や環境問題、現在のツバルについての紹介。

「フォンテ文庫ウィンタースペシャル おはなしハーモニーの人形劇 『おむすびころりん』」

- 11/25
- ボランティアグループ「おはなしハーモニー」による人形劇『おむすびころりん』の上演や歌など。

「図書館のお仕事たいけん」

- 12/17
- 小学4年生から6年生までを対象に、児童コーナーの書架整理、カウンター業務、おすすめ本の展示コーナー作りを体験。

「雑誌リサイクル」

- 3/2(河辺分館)、3/9(明德館)
- 保存期間が過ぎた図書館の雑誌を市民の皆さんに無料で提供。